

平成 22 年度 大学院 G P 鶴岡キャンパス研修 レポート

修士課程 1 年 中田光

今回、平成 22 年 10 月 28 日(木)、29 日(金)、大学院 GP 医・薬研究科の修士課程の学生を対象とした研修が慶應義塾大学先端生命科学研究所(鶴岡キャンパス)で行われました。

鶴岡キャンパスは研究を行う上で最高の環境であり、広々とした空間に数え切れないほどの CE-TOF-MS が並べられ、その光景を目の当たりにしたとき私は驚きを隠せませんでした。キャンパス内には託児所があり、女性研究者や家族で安心して研究を行える環境が整っていました。そして、24 時間入浴可能なジェットバスは過酷な研究行っていく上でなくてはならないものであるということ富田所長よりお聞きしました。

二日間の鶴岡研修を体験して最も刺激を受けたのは鶴岡で研究する学生の「研究に対する熱い思い」を感じたことです。私も修士課程の 1 年生として研究に励む日々ですが、鶴岡の学生のプレゼンの質の高さや研究への意欲に大変刺激を受けました。

今回の研修を通して私自身の研究への熱い気持ちとは何かを再認識させられる大変充実した二日間でした。

鶴岡キャンパス研修を支えて頂いた、富田所長をはじめ、鶴岡キャンパスの学生さんや関係者の方々に心より御礼申し上げます。

